

岐阜県剣道選手権

七月九日(土) 第六十六回岐阜県剣道選手権大会が、OKBぎふ清流アリーナで開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大予防策として、昨年と同様、小学生から高校生を除く一般のみの参加の大会となりました。

一般女子から高齢者の部まで百六十八人の選手の参加により、熱戦が繰り広げられました。

結果は、次のとおりです。

○試合結果

一般女子30歳未満の部

- ①早矢仕真帆 ②木村 桃子
- ③岩田 美海

一般女子30歳以上50歳未満の部

- ①猪俣ひかり ②足立 佳恵
- ③山北 麻未

一般女子50歳以上の部

- ①益田亜希子 ②曾我司保子
- ③星山 正子

二段の部

- ①山腰 真史 ②年徳谷一哲
- ③安藤 嘉伸

三段の部

- ①田口 悠斗 ②石樽 大暉
- ③松井謙之介

四段の部

- ①中西 港 ②伊藤 雄平
- ③新田 家己

五段の部

- ①伊藤 崇司 ②大野 祐史
- ③玉井 裕也

六段の部

- ①五十嵐 洸 ②合村 祐樹
- ③栗本 匠



各部門優勝者のみなさん

七段の部

- ①江原 寛二 ②白川 順一
- ③加藤 洋基

高齢者の部

- ①山崎 昌彦 ②日野 智之
- ③森下 真次

東西対抗 六地区大会

岐阜市で開催

東西対抗・西軍優勝

六地区大会・岐阜地区優勝

神谷 正敏

朝から雨が降り、初秋の小寒い日となりましたが、十月十日(祝)岐阜市南スポーツセンターにおいて、第四十四回岐阜県東西対抗剣道大会、並びに第六十回岐阜県六地区対抗剣道優勝大会が開催されました。

国歌斉唱の後、前回東西対抗優勝の西軍、同六地区対抗優勝の中濃地区から優勝杯が返還されました。続いて堤俊彦会長から選手へ激励挨拶があり、その後、高石和摩審判長から本大会に関しての注意事項の説明がありました。次いで中濃地区大将の鷲見善久選手から力強い選手宣誓がありました。

試合の開始前には、まだ、コロナ禍ということもあり、櫻井智明先生と木島秀幸先生による暫定的な試合・審判法の具体的な説明があり、徹底するよう指導



熱戦が展開された選手権大会

がありました。

午前の部は、六地区対抗試合が行われ、第一試合場では、中濃地区・加茂地区・岐阜地区によるリーグ戦。第二試合場では、西濃地区・飛騨地区・東濃地区によるリーグ戦が行われました。

その結果、第一試合場では、岐阜地区が、第二試合場では、東濃地区が、リーグ一位となり、決勝戦に進むことになりました。

決勝戦では、一進一退の接戦となりましたが、大将戦で岐阜地区が勝ち、優勝するという結果となりました。

なお、三位決定戦は、各予選リーグ二位の中濃地区と西濃地区の対戦となり、三勝一敗三引き分けで、中濃地区が勝ちを収めました。

午後からは、雨も上がり晴天にも恵まれ東軍と西軍に分かれ、対抗試合が行われました。

東軍加藤尚喜・西軍瀧戸八起監督のもと、熱戦が繰り広げられました。

西軍は、先鋒の吉田沙紀選手が面を